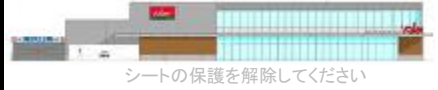


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)パロー高槻店	階数	地上2階
建設地	高槻市若松町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	320 人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,658 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年4月18日
敷地面積	7,135 m ²	作成者	(株)エネ・グリーン寺川幸子
建築面積	3,951 m ²	確認日	2018年4月18日
延床面積	3,846 m ²	確認者	(株)エネ・グリーン定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 78%

③上記+②以外の 78%

④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	来客に買い物だけでなく、休息や憩いを生み出すような敷地内計画や空間計画を実施。また、省エネルギーに配慮している。	その他 特になし
Q1 室内環境	通年にわたり、快適な温熱環境を実現できる空調機器の計画。	Q3 室外環境(敷地内) 地上緑化、壁面緑化により充実した緑化計画に取り組んでいる。
LR1 エネルギー	LED照明の採用等、高効率設備機器を採用している。	LR3 敷地外環境 消費エネルギー量削減により運用時のLCCO ₂ 排出量低減に配慮している。オール電化により大気汚染物質を全く発生しない。充実した駐車駐輪施設の計画。
Q2 サービス性能	天井高さを十分に配慮し、広さ感に配慮している。ゆとりのある階高と空間の自由さを確保し、設備やプランニングの自由度が極めて高い。また、維持管理作業に配慮した計画。	
LR2 資源・マテリアル	節水洋風便器に加え自動水栓を採用し、節水に取り組んでいる。躯体以外の材料にリサイクル材を2種採用している。躯体と仕上げ材が比較的分別容易な構造にしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0009

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)バロー高槻店						
	建設地	高槻市若松町300番1						
	用途/区分	物販店						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						1	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	1.3	1
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		